

防衛医科大学校病院医療安全監査委員会
令和2年度 監査結果報告書

防衛医科大学校病院医療安全監査委員会規則に基づき監査を実施し、以下を報告する。

1. 監査の方法

防衛医科大学校病院医療安全監査委員会は、説明聴取と資料により監査を実施した。

2. 実施日

- 1) 第1回監査：令和2年6月24日（水）
- 2) 第2回監査：令和3年3月1日（月）～3月5日（金）
オンデマンド方式による報告とメール審議

3. 監査結果

1) 第1回監査

(1) 令和元年度安全管理体制について

資料に基づき説明を受け、確認をした。特に医療法施行規則の基づき医療用放射線安全管理責任者の配置と診療用放射線の指針の規定について説明を受けた。

(2) 令和元年度インシデントレポート集計結果報告

資料に基づき説明を受け、確認をした。インシデント報告件数は、令和元年度とほぼ同数であったが、レベル0～レベル1の報告が増えており、医療安全文化の醸成、定着が行われていることを確認した。報告に対して、集計結果の提示だけでなく、活動報告や対処方法についても提示するよう委員から要求した。

(3) 令和元年度の外部監査委員会指摘事項と改善状況の報告

資料に基づき説明を受け、以下の①、②を確認した。特に、②の臨床工学技士の不足に対し、以前より増員の要求を求めてきたが、令和2年度、合計4名の増員予算が確定したことを確認した。しかし、依然として、本来、臨床工学技士が携わる業務が多々あると報告があったため、増員の要望を継続するよう要求した。

①「入退院支援体制」強化のための人員充当と「入退院支援センター」開設について

②臨床工学技士（ME）の人員配置と増員要求の継続について

(4) その他

新型コロナウイルス感染症の現状と対応について委員より質問があり説明が実施された。

2) 第2回監査

新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言下であることを鑑み、オンデマンド方式で約1時間15分の監査事項に対する説明をうけ、メールにて審議を実施した。

(1) 令和2年度インシデント報告状況(中間報告)

資料に基づき説明を受け、確認をした。

(2) 警鐘事例への対応(PDCAサイクルを活用した症例についての報告)

資料に基づき説明を受け、確認をした。

(3) 放射線・病理レポートの未読状況、重要所見の確認状況について

資料に基づき説明を受け、未読防止に向けた対応がとられていることを確認した。

(4) 内部通報窓口報告について

内部通報窓口投函があった事例につき報告があり、適切に対応されていることを確認した。

(3) その他

以下①～⑤について今年度の実施状況について報告を受けた。⑤の対応困難事例については、委員より「医療現場における暴言・暴力等のハラスメント対策について」(平成31年2月28日付医政総発0228第1号)情報提供があり、実際の現場における運用状況等について助言があり、今後の対応に参考になるものと思われた。

また委員からは、医療安全のために種々の方策をとることは望ましいことであるが、可及的に単純かつ確実な方法を構築して、現場の負担が過剰にならないよう工夫して頂きたい、との意見があった。

- ① 医療安全・感染対策講習会について
- ② 放射線安全教育の推進
- ③ 医療安全推進月間の取り組み
- ④ 安全対策プロジェクトチーム会議の報告
- ④ 対応困難事例(不審電話、暴言・暴力事例)

5. 総括

病院長をはじめとし、積極的な医療安全の取り組みがなされていることを確認した。指摘事項については、病院で対応できる事項では概ね改善されているが、懸案事項であるマンパワーに関する事項は予算措置等病院で対応できない要件があり、引き続き監視する必要がある。また、医療事故調査支援センターへの報告事例が発生し、次年度の監査委員会において詳細の報告を受け監査を実施する予定であるが、今後、これらの取り組みを継続的に監視する必要があると考え、安全・安心な医療の提供を目指した安全管理体制の向上を希望する。